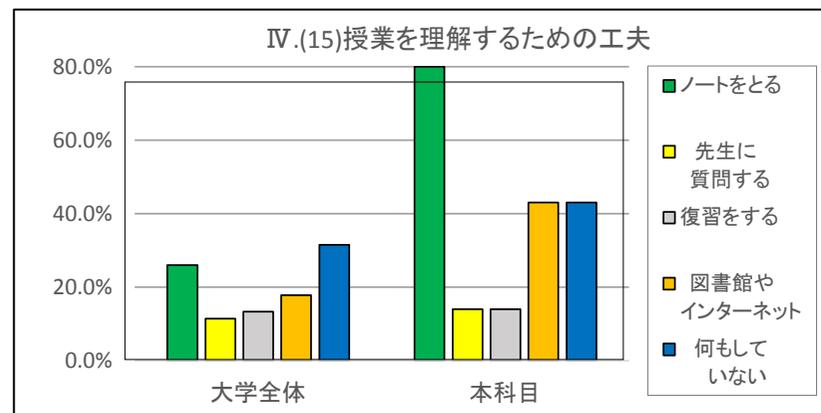


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	43.0%	43.0%	14.0%	14.0%	80.0%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.11	3.45
	I.(2)	3.33	3.56
	I.(3)	2.67	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.00	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.00	3.33
	II.(8)	3.33	3.42
	II.(9)	3.44	3.30
	II.(10)	3.44	3.23
	II.(11)	2.11	3.21
	II.(12)	3.00	3.48
	II.(13)	3.11	3.45
満足度	II.(14)	3.11	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.04	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.05	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.11	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	13102
科目名	奈良学
教員名	桑原 祐子

①授業計画の達成度について

本講義では、世界的な文化遺産である正倉院の文物を入り口にして、奈良の文化や歴史をテーマにした講義を行っている。正倉院宝物の歴史・宝物の成り立ち・東西の文物の交流、及び、正倉院文書から分かる古代官人の生活などの講義を行った。ほぼ毎回パワーポイントを使った授業であった。手元に資料も配布したが、興味のある学生とそうでない学生の学習上の差が大きかったと思われる。概ね計画は達成できたと認識しているが、興味のない学生への対応を考える必要がある。

②授業の進め方について

必修科目のため受講人数は多い方であるが、座席指定をしているためか、私語は少ない。遅刻・私語については、はじめの数回の授業で厳しく注意を与えて、それ以降は、概ね快適な環境で授業が進められたと感じている。正倉院宝物や正倉院文書の話は、必ずしもポピュラーではないが、正倉院展の開催時期と重なっているため、今年度の出陳宝物の話を中心にあげた。また、ほぼ毎回、質問を設定し、確認カードを書かせ、疑問点・質問については翌週の授業で解説するようにした。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

私語対策と授業運営上の必要から座席指定を行っているが、授業アンケートの結果から見て、一定の効果は上げていると思われる。今後も行いたい。但し、前に座ることを希望する学生もいるので、柔軟に対応したい。学生の自主的な学習、復習のための具体的対策を考えたい。